

普通の人々のスプートニク

——マスメディアは何を人々に理解させようとしたか

河本和子

本稿の目的は、ソ連の報道がスプートニクとそれが象徴する科学の発展について、一般の人々に何を伝えようとしたのかを明らかにすることにある。特に専門知識を持つわけではない人々を読者とする『夕刊モスクワ』を分析の中心に置く。スプートニク打ち上げは事前にはほぼ報道されず、打ち上げ後に大きく報道された。とりわけ外国での報道が盛んに引用され、諸外国に与えた強い印象がソ連市民に伝えられた。他方でアメリカの打ち上げ失敗は辛らつに言及された。紙面に登場するソ連の科学者たちは、打ち上げの成功は社会主義の優位を示しただけでなく、ソ連の科学が人類一般に貢献したと論じた。また、彼らは読者向けの平易な解説記事を書き、科学の有用性をアピールした。読者は投書で将来の宇宙旅行に期待感を示し、明るい未来展望を共有した。明るい未来像の提示は成功した宣伝と評価できる。